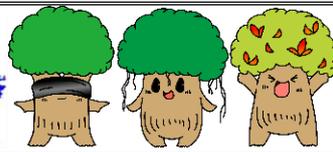




# 三本木



令和8年 2月17日（火）  
石垣市立白保小学校  
TEL：86 - 7840  
FAX：86 - 7396

## たくさん笑顔が輝いた しらほっこ発表会

去った6日の「しらほっこ発表会」には多数の保護者の皆様にご来校頂き、日常の学校生活の様子や音楽、体育、ダンス、創作劇、修学旅行体験記など、子どもたちが主体となって創造した活動した成果の発表を鑑賞していただきました。ご観覧いただき誠にありがとうございました。学校は早いものであと1ヶ月で6年生は卒業を迎えます。残りわずかとなった小学校での日々を大切に過ごしてほしいと思います。

次ページから各学年の発表の様子を少しだけ掲載していますのでご覧ください。

### 自立心を育むために親ができること

#### その1 親と子どもの課題を分ける

これは、大ベストセラーとなった「嫌われる勇気」でおなじみの心理学者アルフレッド・アドラーが提唱する概念です。

簡単に言うと、**自分がコントロールできる課題と他人がコントロールする課題を分け、他人の課題には踏み込まない**、というものです。ここでいう「課題」とは、目の前にある問題や取り組もうとする事柄のことを指します。親にとっては家事や仕事育児。子どもであれば、学校の宿題や習い事、友達関係など、誰もが多くの課題を持って生きています。誰の課題かを考えるときのポイントは「この課題の責任を負うのは誰なのか？困るのは誰なのか？」と問いかけてみることです。

親心から、自分が子どもにしてあげられることは何でもしたい、という人も多いでしょう。ただ、アドラーは「親子こそ課題を分けることが重要」といいます。宿題になかなか取り組まない子どもに何度も声をかける、子どもが忘れ物に気づく前にランドセルをチェックしてリコーダーを忍ばせておく、学校に遅刻しないように子どもの準備をすべて整えておく・・・。

これらは子どもの課題であって親の課題ではなく、他人の課題に土足で踏み込んでしまっている可能性があります。もちろん、まだ自分ではうまくできない子どもにサポートが必要となることはありますが、**子どもの課題に踏み込みすぎると、本来自分で乗り越えるべき課題を子どもが乗り越えられなくなってしまいます**。また、そもそも子どもがその課題を「自分の」課題だと認識できなくなってしまう恐れがあります。

親が境界線を越えて子どもの課題を取り上げてしまうのではなく、**自分と子どもの課題は何かを分けて考え、子どもが自分の課題を自力で解決できるよう支援していくことが大切です**。

その積み重ねが、自分の頭で考え、行動し、それらに責任を持つ「自立心」を育むことにつながっていくのです。

（この本は昨年学校図書館に寄贈されました。イラストの年表は一見の価値あり！）

トヨさんは、「毎年この時期に寄付に来るから、来年もまた来ます。」とってください

ました。今年は午年の生年祝いにも出席され、同い年の同級生たちと一緒に踊ってとても楽しかったと話されていました。12年後のカジマヤーまで、頑張って寄付を続けたいとも言っておられました。大変ありがたいことですね。寄付金は図書の購入やその他の教育活動費として大切に活用していきます。ちなみに、左の画像は上の画像を生成AIに「アニメ風にして」とお願いしたら十秒ほどで仕上げてくれたものです。単なる遊び心でお願いしたら、結構イケてる感じだったので、保護者の皆さんにも見ていただこうと思い、載せることにしました。

毎年寄付をするトヨさんもすごい方ですけど、AIもスゴイですね！



#### 3月の行事予定

- 3日(火)新委員会活動（4・5年生）
- 4日(水)旧十六日 ※給食なし4校時授業
- 6日(金)6年生を送る会
- 12日(木)さぶっこ食堂③ 7:30 オープン
- 13日(金)卒業式リハーサル
- 17日(火)卒業式会場設営
- 18日(水)卒業式  
※給食なし4校時
- 19日(木)修了式・離任式  
※給食なし4校時
- 20日(金)春分の日（公休日）



#### 春休み 3/20～4/8

- ※ R8 1学期 始業式 4月 9日(木)
- ※ R8 入学式 4月10日(金)

### ご寄付をいただきました！



10日(火)白保小を昭和30年に卒業された新城トヨさんが来校し、寄付金(10万円)をいただきました。

トヨさんは、昭和39年より県立八重山病院(当時

は琉球政府立八重山病院)で長きにわたり勤務され、平成8年から14年3月に退職するまで第3代看護部長として勤められた方です。その長年の八重山での看護職に携わった記録を後生に残しておこうと、自ら編集に携わり、1冊の本にまとめられ、2年ほど前に発行した本が右下の画像の本です。

沖縄県立八重山病院  
看護のあゆみ



新城トヨ 編